

九州観光推進機構 活動レポート

感動がある。物語がある。九州



— 2012年4月号 —

◆ 3月のトピックス

○ 中国「2012日本商品直送 in 中国」に出展（3月2日～4日：上海市）

日本商品直送事務局（森ビル都市企画株式会社ほか）主催で日本物産等を展示する「2012日本商品直送 in 中国」に九州ブースを出展し、九州観光PRを行いました。会場には4万7千人の来場者があり、九州ブースに非常に多くの方が立ち寄られました。

九州観光キャラクターの「キューちゃん」を初めて中国で披露したところ、「可愛い」との印象から人気を集め、「キューちゃん」が九州のイメージの効果的なPRに一役買いました。今後も一般の方への観光PRを積極的に行い、中国での九州の知名度向上に取り組んでいきます。



○ 台湾・中華航空キーエージェント等の南九州招請を支援（3月3日～7日：宮崎、鹿児島）

今年3月25日に中華航空の台北鹿児島線（週3便）が新規就航し、台北宮崎線（週2便）と合わせて南九州への路線が週5便に増便となり、その利用促進と南九州が誇る豊富な自然や文化、食、温泉等を新たにPRするため、宮崎・鹿児島県が中華航空の協力を得て、同航空キーエージェントの旅行会社やメディアなど14名を招請するファミトリップを実施しました。

今回の招請で機構は、バス借上代、通訳ガイド費用負担で支援を行いました。



○ 中国・長崎上海航路関係旅行会社等を招請（3月3日～8日：福岡、佐賀、長崎、熊本、大分）

今年2月末に営業運航を始めた長崎上海航路の利用促進のため、長崎県・佐賀県・大分県及びハウステンボスクルーズと協力して関係する中国の有力旅行会社やマスメディアの33名を招請し、同航路を利用した旅行商品造成と中国での周知を働きかけました。

一行は同航路（オーシャンローズ号）を利用して長崎から入国し、佐賀、大分、熊本、長崎の順に各地の観光地を視察しました。外国人観光客の増加を図るうえで、交通アクセスの充実は非常に重要であることから、早期のうちに航路の認知度が向上し、利用客が増加することが望まれます。

○ 中国・クルーズ関係旅行会社等を招請（3月5日～9日、16日～20日：九州各地）

九州運輸局と連携して、中国から九州へのクルーズを運航しているロイヤルカリビアンインターナショナル社、コスタクルーズ社、関係旅行会社のキーパーソンを招請し、九州各地で視察を行いました。

第一団として来訪したロイヤルカリビアンクルーズ社と北京市を中心とする関係旅行会社のグループは、長崎（軍艦島）、大分（杵築）、宮崎（高千穂）、鹿児島（知覧）等を視察した後、長崎で九州の関係者との意見交換を行い、次年度のクルーズ船受入体制等について協議しました。続いて訪れたコスタクルーズ社と上海市を中心とする関係旅行会社のグループは、福岡（柳川）、佐賀（唐津）、熊本（人吉）、大分（由布院）等の視察を行い、福岡で関係者との意見交換を実施しました。



今年は両社とも九州に寄港する船が大型化し、より多くの来訪者が期待できることから、これまで以上に綿密に両社と連携を取りながら、クルーズ商品の販売促進や受入体制の充実に取り組んでいきます。

○ 韓国語・英語版「九州教育旅行ネット」を開設（3月6日）

国内「九州教育旅行ネット」の多言語化を行い、韓国語・英語版「The Kyushu Educational Travel Net」を開設しました。このサイトは、海外の旅行会社及び教育関係者向けに、教育旅行に対応する施設の情報及び教育プログラム等を掲出しており、九州が教育旅行の適地であることを発信しています。 <http://kyoiku.welcomekyushu.jp/en/>

○ 台湾・保険会社インセンティブツアーを福岡空港で出迎え（3月7日～11日：福岡市）

台湾の保険会社「紐約人壽」のインセンティブツアー79名が3月7日に福岡空港に到着し4泊5日の行程で福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、熊本の各地を訪問しました。福岡入りした初日は、九州運輸局と共に福岡空港国際ターミナルにおいて横断幕を掲げて一行を出迎えしました。ツアー参加者には大変喜ばれるとともに、横断幕とともに写真に収まる姿が次々に見られました。



○ 2011年度「第3回評議員会」「第3回理事会」を開催（3月8日、22日：福岡市）

九州観光推進機構の2011年度「第3回評議員会」（3月8日）、「第3回理事会」（3月22日）を福岡市で開催しました。事務局から2012年度総会（5月）にお諮りする以下の事項について、評議員会の審議を経て、理事会で原案どおり承認されました。

- ・2011年度事業実施状況、2011年度補正予算（案）
- ・2012年度事業計画（案）、2012年度収支予算（案）
- ・役員を選任（案）について

また、理事会審議後、事務局から「総合特区申請結果等について」の報告を行い、昨年9月に国に申請し昨年12月の最終選考で惜しくも外れた「九州観光『おもてなしの輪』創造特区」については、改めて申請することで進めていくこととなりました。



2011年度「第3回理事会」

○ シンガポール「九州観光説明会・商談会」「九州教育旅行セミナー」を開催

（3月9日～10日：シンガポール）

九州の魅力的な観光素材を紹介し、一般旅行及びインセンティブ旅行の誘客回復を図るため、「九州観光説明会・商談会」を開催しました。九州からは16団体20名、シンガポールの訪日取扱旅行会社及びマスコミ等から56社84名が参加し、九州向け商品造成の拡充が期待できる商談となりました。

また、同説明会・商談会の翌日は、シンガポールの教育関係者26校47名を対象に九州教育旅行セミナーを開催しました。「The Kyushu Educational Travel Net」の紹介、九州各県のプレゼンテーション、九州教育旅行体験者による講和等の実施により、九州は教育旅行の適地であることをPRし、九州向け教育旅行の再開を促しました。



○ 中国・陝西省教育関係者を招請（3月10日～15日：九州各地）

西安市を中心とした陝西省の小中学校長等教育関係者を招請し、九州の教育関係施設及び観光地の視察を行いました。一行は小学校の平和教育、産業観光関連施設とともに、日中の絆が感じられる長崎歴史文化博物館で開催中の「孫文と梅屋庄吉展」を視察しました。このたびの招請は、九州を中国の教育旅行の主要な目的地としてもらうために実施しており、今後も中国から評価が得られるよう取り組んでいきます。

○ 台湾・中華航空「ダイナスティパッケージ」販売担当者等を招請

（3月16日～21日：福岡、佐賀、長崎、熊本、大分）

今年3月1日に中華航空の台北福岡線が毎日2往復に増便し送客能力が拡充される機会を捉え、航空券と宿泊をパッケージにしたFIT向け商品「ダイナスティパッケージ」の販売担当者及びメディア等関係者の15名を九州へ招請しました。一行は、温泉・自然・食など九州の魅力を現地体験するとともに、ホテル視察等を行いました。



今回の招請による販売担当者等とのコミュニケーションを通じて、旅行商品のラインナップの充実とともに、台湾からの顧客に九州の魅力をより一層正しく理解してもらえることが期待されます。

○ 「南九州たびフェア in 岡山」に出展（3月17日～18日：岡山市）

JR西日本が主催する岡山駅前のイベント「南九州たびフェア in 岡山」に熊本、宮崎、鹿児島各県とともに参加し、各県の物産や観光スポット、新幹線を利用した九州への誘客をPRしました。開催期間中は小雨がぱらつく天候となりましたが、2日間で2万1千人（対前年比95%）の入場者があり、会場はまぎまぎの人出となりました。



機構ブースでは、南九州各県以外の福岡、佐賀、長崎、大分県についても観光情報を発信するとともに、九州7県に興味をもってもらい問題を出题するミニクイズラリーを行い300人が参加されるなど、九州全体のPRを行うことができました。

○ 台湾・ブログサイト「歩歩日本」を招請（3月20日～27日：九州各地）

中華航空の台北福岡線の送客能力が拡充される機会を捉え、日本在住の台湾人による繁体字ブログサイトを編集・監修する台湾人人気作家・張維中氏を九州へ招請し、「食」「自然」「温泉」「楽しい列車の旅」など多彩な九州の観光素材の取材を行いました。4月上旬から週2回、九州情報が掲載される予定であり、「一人の台湾人として体験を通して感じたことを、作家の筆力で台湾人に伝える」というコンセプトにより、新たな観点からの九州の魅力の効果的な発信が期待されます。



○ 中国・ファッション誌「伊周(Femina)」等を招請（3月23日～26日：九州各地）

中国の人気ファッション誌「伊周(Femina)」と九州専門情報誌「南国風」の記者3名とモデル3名を招請し、九州のファッションやショッピングを中心に取材を行いました。

一行は、ハウステンボス、鳥栖プレミアムアウトレット、福岡市内の商業施設等を入念に取材した後、福岡で開催された「福岡アジアコレクション(FACo)」に参加し、ショーの撮影や人気モデルへのインタビューを実施しました。今回招請した「伊周」は20代の女性が主な読者層であるため、若い女性の間で九州の知名度向上が進むことが期待されます。



○ 中国「南方週末」取材を支援（3月23日～4月2日：九州各地）

中国広東省の有力メディア「南方週末」から九州取材で協力依頼があったため、取材先の手配等を行い、円滑な取材ができるように支援しました。

今回の取材は、歴史・文化などの側面を重点的に取り上げる内容であるため、各県知事や各地の要人へのインタビューをはじめ、有田・平戸・高千穂など独特の歴史・文化を有する観光地で撮影を行いました。観光はもとより様々な切り口から九州を紹介していただくことで、中国における九州への理解がより深まるものと期待されます。



○ 小学館取材に協力（3月）

小学館「BE-PAL」の（3月6日発売、22万部発行）の連載記事「ゲンキな田舎！」において、九州の民泊を紹介する取材に協力しました。長崎県大村市の包丁職人宅への民泊を中心に取材を行い、トピックスとして、佐賀県三瀬、大分県安心院、宮崎県宮崎市などでの民泊が紹介されており、九州の民泊の素晴らしさが十分に伝わる内容となりました。



○ えい出版社取材に協力（3月）

えい出版社「ディスカバージャパン」（3月10日発売、12万部発行）の特集「南九州の鉄道」の取材に協力しました。

肥薩線（人吉～吉松）を走る「いさぶろう・しんぺい」、肥薩線・日豊本線・鹿児島本線（吉松～隼人～鹿児島～鹿児島中央）の「はやとの風」、鹿児島本線・三角線（熊本～宇土～三角）の「A列車で行こう」などの人気列車を軸に、鉄道を利用した南九州の旅が紹介されました。



◆ 九州観光推進機構からのお知らせ

○ 新入会員企業のご紹介

新たに次の企業が会員になりましたので、お知らせいたします。（敬称略）

・株式会社レイナ 所在地 福岡県福岡市中央区渡辺通1丁目1-1 サンセルコビル3F
代表者 代表取締役社長 今井 千恵

○ 人事往来

本年4月1日付で事業本部スタッフの人事異動がありましたので、よろしくお願い申し上げます。

【転入者】 [] 内は派遣元

企画部長	むかえ	あつし	[長崎県]
海外誘致推進部長	たけなみ	けんじろう	[福岡県]
国内誘致推進部次長	もり	しんすけ	[大分県]
海外誘致推進部次長	かい	ゆうじ	[宮崎県]

○ 4月以降の主な予定

- ・シンガポール・MediaCorp取材支援（4月6日～16日：九州各地）
- ・九州オルレ視察（4月11日～12日：奥豊後、12日：天草、18日：武雄、18日～19日：指宿）
- ・「第12回WTTCグローバルサミット」出展（4月18日～19日：東京）
- ・「平成24年度九州観光推進機構担当者会議」開催（4月26日：福岡市）
- ・中国「上海世界観光博覧会(WTF2012)」出展（5月10日～13日：上海市）
- ・平成24年度下期「観光素材説明会・相談会」開催
（5月16日：東京、22日：名古屋、24日：大阪、30日：広島、6月5日：札幌、7日：福岡）
- ・2012年度「第1回評議員会」開催（5月18日：福岡市）
- ・2012年度「第1回理事会」「定時総会」開催（5月23日：福岡市）
- ・台湾・テレビ局TVBS「来去住一晚」招請（5月：熊本、宮崎、鹿児島）
- ・香港「ITE」出展（6月14日～17日：香港）

◇◇お問い合わせ先◇◇

九州観光推進機構 企画部 松尾

TEL：092-751-2943 E-mail：info@welcomekyushu.jp